特命助成

「ぱちんこ依存問題に関する相談および回復支援」事業

パチンコ・パチスロへの依存（のめり込み）問題への早期介入を目指して地道な努力を継続

「NPO法人リカバリーサポート・ネットワーク」は、2006年に全日本遊技事業協同組合連合会の支援によって発足し11年を経た。現在は、パチンコ・パチスロ産業21世紀会の支援、会費、有志の方々の寄付金によって、電話相談、遊技業界への問題啓発や研修、研究協力などの事業を安定的に継続できるようになっている。非営利だからこそできる時代や状況に合わせた問題解決支援を継続していくことがNPO法人の使命であると考えている。

年間約3千件の相談に対応

「NPO法人リカバリーサポート・ネットワーク（以下RSN）」は、日本で唯一のぱちんこ依存問題を専門とする相談機関である。電話相談専用回線を4回線設置し、トレーニングを受けた3名の相談員（常勤2名、非常勤1名）が相談にあたっている。相談者は、匿名で相談を受けることができ、相談料は無料。相談日・相談時間は平日午前10時から午後4時までとなっている。

相談電話サービスの主な広報の手段として、啓発・告知用ポスターをパチンコホールの協力のもとホール内に掲示してもらう方法をとっている。

平成27年8月より、東京の全国遊技機商業協同組合連合会（以下、全商協）事務局内にリカバリーサポート・ネットワーク支援室（以下、全商協RSN支援室）が開設され、依存問題以外の電話（意見、不正相談、ホールなどへの苦情、グチなど）は全商協RSN支援室の相談員が対応している。対応にあたる相談員は、スーパーバイズや事例検討により、情報の共有化と相談技術の底上げを行っている。

平成28年1月1日から同年12月31日までの相談件数は、2,502件であった。開設以来の総相談件数が、2万件を超えた。

電話相談の概要は、2016年度電話相談事業報告書にまとめ配布（平成29年4月）を行った。報告書は、印刷版に加えて一般社団法人信頼の森の協力による電子書籍出版社CPE出版から電子書籍版にて配信している。遊技参加者だけではなく、遊技産業従業員への依存問題の啓発を行うため、新たに従業員向けのポスターを作製し配布を開始した。また、遊技参加者が自分で状態をチェックできる自己評価用のスマートフォン用アプリ「パーラージキル&ハイド」を作製し、無料配布を開始した。

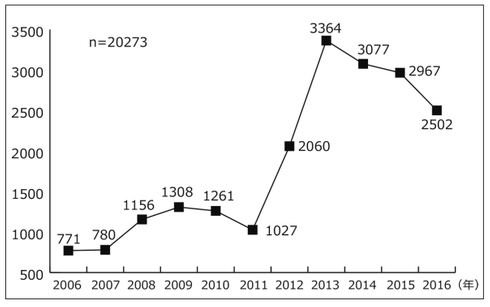

図　平成28年相談件数の推移

従業員向けに作ったポスター

電話相談以外の取り組み

RSNは電話相談事業以外に、研究協力として、JST（国立研究開発法人科学技術振興機構）「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築」研究開発プロジェクトのなかの「多様化する嗜癖・嗜虐行動をめぐるトランス・アドヴォカシー・ネットワーク（ATA-net）」のギャンブリングユニットを担当している。また（公財）日工組社会安全研究財団パチンコ依存問題研究会においては、パチンコ・パチスロ障害尺度（PPDS）を作成し、遊技障害の現状を把握する全国調査に着手した。本研究の成果は、学術論文として発表している。

さらに、NPO法人ワンデーポートと連携し、無料家族相談会を週一回神奈川県にて開催。宮城県・岩手県においても共同セミナーを実施した。「依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会」と連携し、月一回の勉強会を継続。その他に龍谷大学矯正・保護総合センターと連携、学会・企業研修講師の協力、警察庁への事業概要説明、その他ギャンブリング問題関連研究・調査への協力、他の依存問題回復支援活動との連携協力、パチンコ・パチスロ産業21世紀会の広報用ホームページの管理、ホール及びホール関連団体の研修・教育講演、従業員教育プログラムの構築や実施など様々な支援・連携事業に取り組んでいる。

ぱちんこ依存問題相談機関
リカバリーサポート・ネットワーク
050-3541-6420
月～金（祝祭日除く）10:00～16:00　相談無料

自己チェックアプリ「パーラー ジキル&ハイド」

ワンデーポートとの共同セミナー風景

助成団体: 認定非営利特定法人 リカバリーサポート・ネットワーク　http://rsn-sakura.jp

AJOSCの助成によって、純粋に「非営利」の活動を続け、微力ながらも私たちの活動を社会に役立てることができていることに感謝しています。先駆的な事業であるだけに、理解が広がりにくく様々な困難もありますが、日本で唯一のぱちんこ依存問題に特化した民間相談機関としてのサービスをこれからもより一層高めていくように取り組んでいきます。

認定NPO法人 リカバリーサポート・ネットワーク
代表理事　西村直之さん